

貸借対照表

[平成25年3月31日現在]

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,864,636		
前払費用	12,600		
流動資産合計	40,877,236		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,000,000		
普通預金(住友信託)	6,000,000		
基本財産合計	13,000,000		
(2) その他固定資産			
建物	1,290,120		
投資有価証券	3,558,204		
その他固定資産合計	4,848,324		
固定資産合計	17,848,324		
資産合計	58,725,560		
II 負債の部			
負債合計	0		
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	58,725,560		
(うち基本財産への充当額)	(13,000,000)		
正味財産合計	58,725,560		
負債及び正味財産合計	58,725,560		

(注) 『「公益法人会計基準」の運用指針』(内閣府公益認定等委員会 平成20年4月11日平成21年10月16日改正)により、前年度欄及び増減欄については記載していない。

正味財産増減計算書

[平成24年7月2日から平成25年3月31日まで]

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

(単位：円)

科目	当年度 (初年度)	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	136,133		
基本財産受取利息	136,133		
受取会費	2,280,000		
賛助会員受取会費	2,280,000		
雑収益	3,653		
受取利息	3,653		
経常収益計	2,419,786		
(2) 経常費用			
事業費	2,893,286		
普及宣伝費	34,800		
HP運営改革費	283,500		
通信運搬費	52,866		
減価償却費	53,820		
印刷製本費	63,525		
諸謝金	100,650		
租税公課	3,225		
助成金	2,300,000		
雑費	900		
管理費	247,593		
会議費	103,490		
旅費交通費	3,480		
通信運搬費	10,029		
消耗品費	11,490		
雑費	60,622		
雑支出	58,482		
経常費用計	3,140,879		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 721,093		
当期経常増減額	△ 721,093		
税引前当期一般正味財産増減額	△ 721,093		
当期一般正味財産増減額	△ 721,093		
一般正味財産期首残高	59,446,653		
一般正味財産期末残高	58,725,560		
II 正味財産期末残高	58,725,560		

(注) 『「公益法人会計基準」の運用指針』(内閣府公益認定等委員会 平成20年4月11日平成21年10月16日改正)により、前年度欄及び増減欄については記載していない。

正味財産増減計算書 内訳表

[平成24年7月2日から平成25年3月31日まで]

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

(単位：円)

科目	実施事業等会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	継1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益			136,133		136,133
基本財産受取利息			136,133		136,133
受取会費			2,280,000		2,280,000
賛助会員受取会費			2,280,000		2,280,000
雑収益			3,653		3,653
受取利息			3,653		3,653
経常収益計			2,419,786		2,419,786
(2) 経常費用					
事業費	2,893,286	2,893,286			2,893,286
普及宣伝費	34,800	34,800			34,800
HP運営改革費	283,500	283,500			283,500
通信運搬費	52,866	52,866			52,866
減価償却費	53,820	53,820			53,820
印刷製本費	63,525	63,525			63,525
諸謝金	100,650	100,650			100,650
租税公課	3,225	3,225			3,225
助成金	2,300,000	2,300,000			2,300,000
雑費	900	900			900
管理費			247,593		247,593
会議費			103,490		103,490
旅費交通費			3,480		3,480
通信運搬費			10,029		10,029
消耗品費			11,490		11,490
雑費			60,622		60,622
雑支出			58,482		58,482
経常費用計	2,893,286	2,893,286	247,593		3,140,879
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,893,286	△ 2,893,286	2,172,193		△ 721,093
当期経常増減額	△ 2,893,286	△ 2,893,286	2,172,193		△ 721,093
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,893,286	△ 2,893,286	2,172,193		△ 721,093
当期一般正味財産増減額	△ 2,893,286	△ 2,893,286	2,172,193		△ 721,093
一般正味財産期首残高	8,343,940	8,343,940	51,102,713		59,446,653
一般正味財産期末残高	5,450,654	5,450,654	53,274,906		58,725,560
II 正味財産期末残高	5,450,654	5,450,654	53,274,906		58,725,560

補足：正味財産増減計算書内訳表と公益目的支出計画報告書との関係

確定した公益目的財産額（51,542,479円）から公益目的支出の額（実施事業等会計の経常費用）を控除し、実施事業収入の額を加算して、事業年度末日の公益目的財産額が確定する。

1. 公益目的財産額	51,542,479
2. 公益目的収支差額（1）+（2）-（3）	2,893,286
（1）前事業年度末日の公益目的収支差額	0
（2）当該事業年度の公益目的支出の額	2,893,286
（3）当該事業年度の実施事業収入の額	0
3. 当該事業年度末日の公益目的財産額	48,649,193

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 該当なし
- (3) 固定資産の減価償却の方法 定額法

2 会計方針の変更

なし

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				1,290,120
土地	7,000,000	0	0	7,000,000
普通預金（住友信託）	6,000,000	0	0	6,000,000
小計	13,000,000	0	0	13,000,000
特定資産				
小計	0	0	0	0
合 計	13,000,000	0	0	13,000,000

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	7,000,000	(0)	(7,000,000)	(0)
普通預金（住友信託）	6,000,000	(0)	(6,000,000)	(0)
小計	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)
特定資産				
小計	0	(0)	(0)	(0)
合 計	13,000,000	(0)	(13,000,000)	(0)

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,950,000	659,880	1,290,120
合 計	1,950,000	659,880	1,290,120

6 実施事業資産

実施事業資産は、次のとおりである。

(単位：円)

土地	7,000,000
建物	1,290,120
合計	8,290,120

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

『「公益法人会計基準」の運用指針』（内閣府公益認定等委員会 平成20年4月11日 平成21年10月16日改正）に定める附属明細書の記載上の留意事項に従い、財務諸表の注記3および4に記載しているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

計上すべき引当金は存在しない。

監査報告書

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
理事長 荒巻 禎一 殿

私たち監事は、平成24年7月2日から平成25年3月31日までの事業年度における理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成25年 5月22日

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

監事

小林 哲夫 

監事

石田 松太郎 